

製図講習会実施報告

三重大学工学部工学研究科技術部

○米倉 雄治

yonekura@mach.mie-u.ac.jp

1. はじめに

工学部実験実習工場では、図面の基本的な書き方を学んでもらい、委託作業時の図面作成に役立ててもらうことを目的として、製図講習会を実施したので報告する。

受講対象は、製図の授業を受講していない機械工学科以外の工学部4年生、大学院生とした。

講習会開催日：2017年9月22日（木）14:00～15:30

受講者：電気電子工学4名（修士2名、学部4年2名）、分子素材工学2名（研究員1名、修士1名）、計6名

2. 講習内容

本講習では、製図の経験がない受講者もいたため、製図の基本となる以下項目から解説を行った。

- ・図面の概略説明（図面に関する JIS 規格など）
- ・図面に必要な基本項目

（部品図と組立図、図枠、投影法、線の用法、尺度、断面図、拡大図、寸法記入法、寸法補助記号、寸法公差、螺子など）

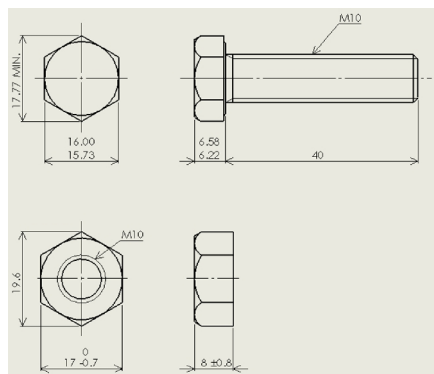
最後に、課題として図1のM10ボルトナットをノギスで測定し、実際に製図を行った。ノギスを使用するのが初めての受講者もいたため、使用方法の説明も行った。



講習会風景



M10 ボルトナット製図時の様子

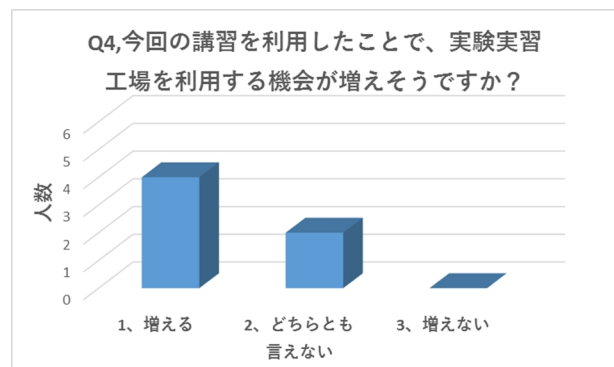
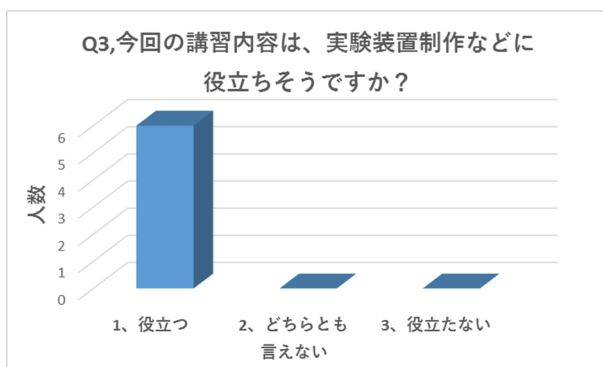
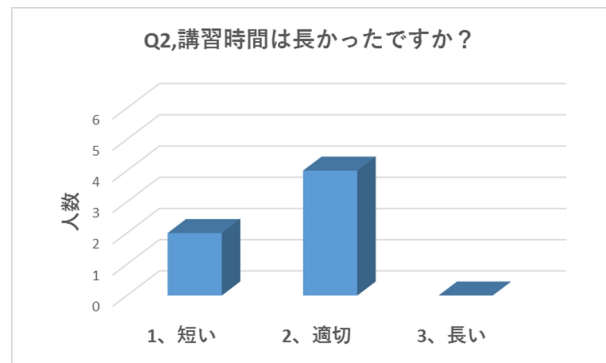
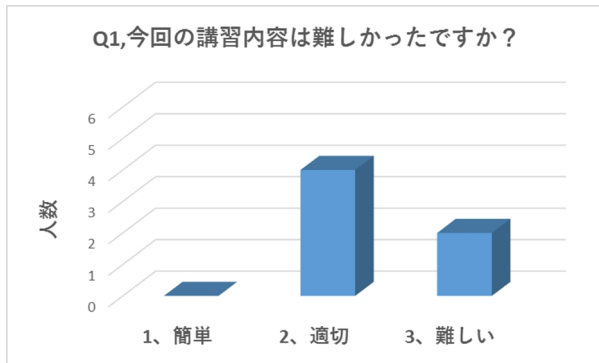


課題回答例

3. アンケート結果

受講者へ以下 Q1~Q5 のアンケートを実施した結果を以下に示す。

いずれの項目も概ね良好な評価内容であった。Q1、Q2 にて、一度でも製図を行ったことがある受講者は、「適切」と回答したのに対し、一度も製図を行ったことがない受講者は、「難しい」、「短い」との回答であった。



Q5、今後、製図講習会で、教えて欲しい内容があれば記載下さい。

- ・はめあい公差

4. 今後

アンケート結果が比較的良好であったため、来年度も継続して実施する予定である。

講習では、製図の基本から説明しているが、図面を一度でも見た経験がない受講者には難しいようであった。製図法の理解には時間や経験が必要なため、実際に製図を行ってもらったり、自ら調べるなりしてステップアップしてもらえればと考えている。

製図時に不明点があれば、都度問い合わせるよう受講者に伝えた。

以上